

〈参 考〉

格付けの取得について

地方分権推進の観点から、地方公共団体の起債発行においても、これまで以上に自己責任が求められる状況のなか、客観的で透明性の高い情報開示を一層積極的に行う観点から、国際的に高い認知度と実績のある格付会社のスタンダード&プアーズ及びムーディーズ・インベスターズ・サービスの2社に大阪市の評価を依頼し、平成19年8月に格付けを取得しました。

格付結果

(平成20年(2008)3月末時点)

スタンダード&プアーズ AA- (20段階評価の上から4番目)

(格付定義) AA格は、債務を履行する能力は非常に高く、最上位の格付け「AAA」との差は小さい。

ムーディーズ(自国通貨建) Aa1 (21段階評価の上から2番目)

(格付定義) Aa格は、信用力が高く、信用リスクが極めて低いと判断される債務に対する格付け。

〈なお、外貨建長期発行体格付けはAa aで最上位評価〉

※ムーディーズでは、平成19年(2007)10月に日本国債の格付けを1ランク引き上げたことに関連して、大阪市格付けをAa 2からAa 1に1ランク引き上げ

格付理由(両社コメント概要)

- 本市の総合的な債務負担は、国内の政令市比較では平均的であるが、国際比較では非常に重い。
- しかし、市税収入が増加に転じており、「市政改革基本方針」の実践による本格的な行財政改革の効果が表れはじめたこと等から、経常経費の負担増や財務リスクに伴う追加負担が顕在化した場合でも債務返済能力は維持できると判断。
- ただし、市長の強力なリーダーシップのもと、今後も財政健全化が図られることが前提であり、改革が滞るようであれば評価の下方修正の検討がなされる。